

洗足学園音楽大学管弦楽団

第82回定期演奏会

Tous les programmes de RAVEL avec Keitaro Harada

2022年7月10日(日)

18:00開演 (17:30 開場)

洗足学園前田ホール

指揮； 原田 慶太楼

演奏； 洗足学園音楽大学管弦楽団

主催；洗足学園音楽大学・大学院

Greeting

本日は洗足学園音楽大学管弦楽団の第82回定期演奏会に御来場いただきまして誠にありがとうございます。

本日の演奏会の指揮を原田慶太楼先生にお願いしたのが昨年6月末、そしてこのオール・ラヴェル・プログラムをご提案いただいたのが昨年11月2日のことでした。マエストロより提案されたプログラムをオーケストラ授業に関わる先生方に伝えたとき、おそらく全ての先生が

「こんなに難しい曲ばかり何曲も、公演日までに間に合うのだろうか…」と心配なされたことと思いますが、原田慶太楼先生はこれらの作品を演奏することがいかに大変なことを承知の上で敢えて私たちのために提案してくださいました。洗足学園音楽大学は教育理念に「自立」「挑戦」「奉仕」という3つの柱を掲げており、今回のプログラムはその「挑戦」に当てはまります。世界中で活躍する原田慶太楼先生とのリハーサルを経験したことで出演者の皆さんは感性を強く刺激されたことでしょう。この3ヶ月の成果を思い切り発揮してくれること、そして皆さんの可能性が広がることを強く願っています。

コロナ感染や教育実習期間と重なり、難しい時期を乗り越えてなんとか今日の演奏会を迎えることができました。頑張ってきた学生たちをどうか盛大な拍手で迎えてあげてください。

最後になりましたが、本日の演奏会のために御尽力いただきましたたくさんの先生方、助手の皆さま、本当にありがとうございました。

企画運営責任者 松本健司

Program

M.ラヴェル Joseph Maurice Ravel 1875-1937

- ラ・ヴァルス *La Valse*
- 海原の小舟 *Miroirs - une barque*
- 道化師の朝の歌 *Miroirs - alborada*

～～休憩～～

- スペイン狂詩曲 *Rapsodie espagnole*
 - 1: 夜への前奏曲 *Prélude à la nuit* *très modéré=Molto moderato*
 - 2: マラゲーニャ *Malagueña* *assez vif=Vivace assai*
 - 3: ハバネラ *Habanera* *assez lent et d'un rythme las=Lento assai*
 - 4: 祭り *Feria* *assez animé = Animato assai*
- ダフニスとクロエ 第2組曲 *Daphnis et Chloé Suite No.2*
 - 1: 夜明け *Lever du jour*
 - 2: 無言劇(パントマイム) *Pantomime*
 - 3: 全員の踊り *Danse generale*

△新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

ラ・ヴァルス *La Valse*

「ラ・ヴァルス」は第一次世界大戦(1914-1918)の終戦後に初演され、「管弦楽のための舞踏詩」

としてオーケストラ版が有名だが他にもピアノ2台のためや独奏ピアノのためにも編曲されている。

「ラ・ヴァルス」というフランス語は英語で「ザ・ワルツ」という意味だ。この曲は一貫して3/4拍子で書かれているが拍節感の変化やヘミオラを効果的に組み合わせることによって変拍子の曲よりもリズムの変化に富んでいる。スコアの冒頭には「渦巻く雲の中から、ワルツを踊る男女がかすかに浮かび上がって来よう。雲が次第に晴れ上がる。」と書かれているように序奏部には、遠景の霧の中から聞こえてくる神秘的なコントラバスから始まり2台のハープを駆使したシャンデリア風の輝きや打楽器の豪胆な一撃は強烈な印象を残す。徐々に破壊へ向かって突き進み、最後はワルツの崩壊を暗示するような圧倒的なクライマックスで突然と終わる。

(オーボエ4年 宇治 愛)

海原の小舟 *Miroirs - une barque*

この曲は、モーリス・ラヴェルが1905年に作曲したピアノの為の組曲「鏡」の第三曲である。翌年の1906年にラヴェル自身により管弦楽編曲が行われ、1907年、ガブリエル・ピエルネ指揮、コロヌ管弦楽団により初演された。

弦楽器の美しいアルペジオと共にフルートの漂う様なメロディが海の波を感じさせながら曲は始まる。

波を表現しているような細かい音型は形を変えながら終始各楽器により紡ぎ出されていき、時には激しく飛び散ったり、静かに畝ったりと、表情を刻一刻と変えながら移り変わっていく。

最後には波は静けさを取り戻し、冒頭の漂う様な旋律を残しながら波飛沫が遠く消え入る様に終曲する。

ラヴェルによって細密画のように描かれる繊細な表現が大変魅力的な楽曲だ。

(打楽器4年 近藤 寛斗)

道化師の朝の歌 *Alborada del gracioso*

「道化師の朝の歌」の原曲は全5曲から成るピアノの為の組曲「鏡」の第4曲だ。

道化師の朝の歌以外の4曲「蛾 *Noctuelles*」「悲しげな鳥たち *Oiseaux tristes*」「海原の小舟 *Une barque sur l'océan*」「鏡の谷 *La vallée des cloches*」はフランス語で題名が書かれているが、道化師の朝の歌のみ「*Alborada del gracioso*」とスペイン語で書かれており、曲調もスペイン風になっている。

また、曲の構成がA B A の3部にコーダつく構成になっており、Bにあたる中間部にはファゴットソロがあり、スペイン風のリズムを刻む打楽器との掛け合いは聴きどころだ。

(トロンボーン4年 小森 豊生)

スペイン狂詩曲 *Rapsodie espagnole*

- 1: 夜への前奏曲 *Prélude à la nuit* très modéré=Molto moderato
- 2: マラゲーニャ *Malagueña* assez vif=Vivace assai
- 3: ハバネラ *Habanera* assez lent et d'un rythme las=Lento assai
- 4: 祭り *Feria* assez animé = Animato assai

1908年に作曲された作品である。ラヴェル(1875-1937)はスペインに近いバスク地方の生まれであったが、生まれてすぐに家族でパリに移住したためスペインの実際の文化には触れることはあまりなかった。しかし、ラヴェルの母親がバスク地方の出身でスペイン風の生活を経験しておりそこから影響を受けたのではないかとされている。

第1曲夜への前奏曲 (Prélude à la nuit)

冒頭から繰り返される4つの音「F-E-D-C#」は第3曲以外の全てに現れ、この作品の主要な主題となる。繊細な弦楽器の音色から始まり、様々な楽器へと広がっていく。

第2曲マラゲーニャ (Malagueña)

マラゲーニャはスペイン南部のマラガ地方で起こった舞曲。コーラングレ(イングリッシュホルン)のしっとりとした音色の旋律と華やかな総奏との対比が魅力である。

第3曲ハバネラ (Habanera)

元々キューバの民族舞曲としてスペインに伝えられたハバネラは19世紀末にかなりの人気を博し、スペイン舞曲として定着するようになった。

この曲のみラヴェルが1895年に2台ピアノのために別で作曲した作品であり今回この狂詩曲を作曲する基盤となった曲である。

第4曲祭り (Feria)

ピッコロフルートの特徴的な旋律から始まり、華やかなスペインの祭りが再現される。中間部では弦楽器の伴奏に合わせてコーラングレが妖艶な歌を歌う。冒頭の4つの音が現れ再度祭りが始まり、熱狂的なクライマックスで幕を閉じる。

(ヴァイオリン4年 早川 萌音)

ダフニスとクロエ 第2組曲 *Daphnis et Chloe Suite No.2*

1:夜明け *Lever du jour*

2:無言劇(パントマイム) *Pantomime*

3:全員の踊り *Danse generale*

ラヴェルの「ダフニスとクロエ」はロシアバレエ団を率いるディアギレフの依頼で、1912年パリ・オペラ座にて初演された。

台本は2世紀から3世紀の古代ギリシアの物語（作:ロンゴス）が元になっている。一幕が全3場から構成されており、バレエ音楽全曲、または2つの組曲の形で演奏される。今回演奏する第2組曲は、第3場がテーマとなっている。

夜明け

（第2場にて、クロエは海賊にさらわれる）

徐々に空が明るくなり、鳥の声（ヴァイオリンとピッコロ）が聞こえる。

クロエがさらわれて絶望していたダフニスだが、パン神（ギリシア神話の神）のお陰で再会を果たす。

無言劇

パン神とシランクス（ギリシア神話の聖霊）に扮したダフニスとクロエが物語をパントマイムする。

全員の踊り

4分の5拍子で描かれる熱狂的な踊りである。

若者がなだれ込み、お祭り騒ぎが始まる。

（ヴァイオリン4年 頼近 友莉奈）



©Claudia Hershner

原田慶太楼 Keitaro Harada

現在、アメリカ、ヨーロッパ、アジアを中心に覚しい活躍を続けている期待の俊英。

シンシナティ交響楽団およびシンシナティ・ポップス・オーケストラ、アリゾナ・オペラ、リッチモンド交響楽団のアソシエイト・コンダクターを経て

2020年シーズンから、アメリカジョージア州サヴァンナ・フィルハーモニックの音楽&芸術監督に就任。

ヒューストン、インディアナポリス、メンフィス、ルイジアナ、ウエストバージニア、ツーソン、フェニックス、ハワイ等のオーケストラと共演。

国内でも様々なオーケストラと共演。

オペラ指揮者としても実績が多く、アリゾナ・オペラのアシスタント・コンダクターとして、〈ドン・パスクワレ〉〈連隊の娘〉〈カルメン〉〈トスカ〉ほかの作品を手がけてきた。シンシナティ・オペラ、ブルガリア国立歌劇場、ノースカロライナ・オペラで

活躍。国内ではフェニーチェ堺のオペラに登場。

2010年タングルウッド音楽祭で小澤征爾フェロー賞、2013年ブルーノ・ワルター指揮者プレビュー賞、2014・2015・2016・2020・2021年米国シオルティ財団キャリア支援賞を受賞。

1985年東京生まれ。インターロッケン芸術高校音楽科において、指揮をF.フェネルに師事。指揮法をロシアのサンクトペテルブルクで学び、2006年21歳のときにモスクワ交響楽団を指揮してデビュー。

2009年、ロリン・マゼール主催の音楽祭「キャットソルトン・フェスティバル」にマゼール氏本人の招待を受けて参加。2010年には音楽監督ジェームズ・レヴァインの招聘を受けてタングルウッド音楽祭に参加、2011年には芸術監督ファビオ・レイジの招聘によりPMFにも参加。これまでに、ロバート・スパン、マイケル・ティルソン・トーマス、オリバー・ナッセン、ヘルベルト・ブロムシュテット、ステファン・アズベリーなどに師事。

オーケストラやオペラのほか、室内楽、バレエ、ポップスやジャズ、そして教育的プログラムにも積極的に携わっている。

2021年4月東京交響楽団正指揮者に就任。

第29回(2021年度) 渡邊曉雄音楽基金音楽賞受賞。第20回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。

オフィシャル・ホームページ：kharada.com/ @KHconductor

Member's

洗足学園音楽大学管弦楽団

Concertmistress	早川 萌音	頼近 友莉奈					
Violin I	井上 海燦	宇根 由利子	長沢 明日香	佐々木 郁子	鴫田 翔	松村 歩美	勝部 小夏
	宮崎 莉子	兼子 萌花	小林 彩	鈴木 利々果	武田 妃那	マノユ 瑠南	
Violin II	秋友 龍馬	椋田 翔允	久本 奈海	三谷 月菜	小林 真子	島村 佳奈	鈴木 光菜
	稲本 雄介	小玉 みどり	隈元 めいみ	寺岡 彩菜			
Viola	宇津木 遥花	米倉 海陽	齋藤 亜花羽	宮島 麻歩	栗國 朝陽*	門井 晴子*	志村 瑠南*
	鈴木 美智子*	高橋 楓*	中里 彩夏*				
Violoncello	沓掛 雛乃	佐々木 七穂	雪江 颯太	大友 美侑*	奥平 華子*	小野田 遥子*	
	原 美月*	三原 香璃*					
Contrabass	榎 さわ	小泉 聡一郎	福田 凧佐	高野 響花*	本橋 和樹*	安田 廉*	
Flute	梅崎 真綾	榊原 里來	園田 凧琉	辻 陽香	土持 志織	筒井 さくら	町田 花音
Oboe	宇治 愛	堀 友香	宮本 菜摘	奥野 彩			
Clarinet	磯崎 優香	上條 里彩	中田 紫乃	成瀬 未涼	福永 愛華	笠 歌純	
Bassoon	塩谷 花笑	加藤 彩音	上治 唯奏	鹿山 唯	平川 眞鈴		
Horn	浅田 万結	佐藤 俊輝	半崎 愛理	山口 亜希菜	梶田 茉朋	金井 亮介	佐藤 駿*
Trumpet	芦川 大樹	磯野 沙弥香	植田 優花	江原 春香	佐々木 右京	高木 美雨	谷口 諒
	冨永 倫	檜山 沙南	細谷 侑生	溝口 大輔			
Trombone	小森 豊生	篠塚 裕太	神野 葵	長坪 海斗	平野 結梨香		
Tuba	齊藤 徹也	吉田 怜生					
Percussion	大石 水紀	近藤 寛斗	佐藤 綾香	中田 実紅	林 拓海	福本 奏音	横木 秀真
	岡澤 七海 ♭						川崎 友仁
Celesta	小嶋みのり ♭	西川真衣 ♭	西村ゆき乃 ♭				
Jeu de timbre	今岡 麗 ♭	山口 琴世 ♭					
Harp	山内 悠里佳*	大隅 レオナ*					

* 演奏補助要員 ♭ 学生賛助

企画運営責任者 松本 健司 (本学教授)

指導教員	松村 秀明	山脇 幸人	吉田 行地	近藤 薫	中 一乃	長原 幸太	沼田 園子
	三又 治彦	物集女 純子	渡邊 ゆづき	安藤 裕子	井野邊 大輔	荒 庸子	羽川 真介
	藤村 俊介	山本 祐ノ介	今野 京	矢内 陽子	森 圭吾	倉田 優	吉岡 アカリ
	佐藤 亮一	田淵 哲也	辻 功	吉村 結実	小林 利彰	中館 壮志	松本 健司
	宇賀神 広宜	鈴木 一志	水谷 上総	吉田 將	勝俣 泰	久永 重明	神代 修
	中山 隆崇	林 辰則	古田 俊博	池上 亘	門脇 賀智志	倉田 寛	府川 雪野
	次田 心平	渡邊 功	清水 太	幸西 秀彦	野本 洋介	松本 祐二	山田 徹
	小林 裕子						
助手	中村 日向子						